

公益社団法人石川勤労者医療協会

2014年度 事業報告

2015年6月28日 法人総会にて承認

I、はじめに

○2014年度のクオリティーポリシーを以下の3点としました。

- 1、日本国憲法の理念を生かし、平和と福祉を創造します。
- 2、安全安心、信頼の医療、保健、介護、福祉サービスを提供し、その質向上をはかります。
- 3、民医連綱領にかかげる使命と目標を実現する地域医療と地域福祉の新たな担い手を育てます。

この方針に沿って、事業活動、経営活動、組織活動を進めてきました。

○2014年度は消費税増税、診療報酬実質マイナス改訂とともにスタートしました。このことは患者、利用者、住民の生活と営業のみならず、医療・介護経営も直撃し、経済格差をますます拡大させました。石川勤医協が公益社団法人としての役割を、事業の上でも地域活動の上でも、一層発揮することが求められた1年でした。

○法人は、2014年6月総会で、「石川勤医協中期計画（2014～2018）」を決定する予定でしたが、中期経営計画を策定できず、12月の臨時総会で決定することとしました。しかし、12月時点でも経営計画を策定できず、12月臨時総会は中止しました。2度にわたって中期経営計画の策定が遅れた原因は、城北の新病院建設委員会で、計画の基本構想、資金計画、経営計画の概要の検討が長引き、最終決定が2014年末までずれ込んだためです。

○3月29日の法人総会にて、2015年—2019年の中期事業計画と、2015年から10年間の中期経営計画を決定しました。

II、2014年度の事業計画の柱がどう実践されてきたか

1、法人運営の改善について

- ①総会は、14年6月、15年3月総会と年2回開催しました。
- ②6月総会前と、12月の臨時総会前（結果的に中止となりました）に会員協議会を行いました。3月総会前には日程上の問題もあり、開催できませんでした。
- ③7月以降、理事会の開催日を毎月第3土曜日午後としました。理事会の出席率に顕著な差はあ

りませんでした。毎月2回目の常任理事会前に、理事会を開催することが多くなり、前月の経営到達の議論を理事会でできないことが多くなりました。この点は改善が必要です。

2、無差別・平等の医療・介護・福祉の推進

- ①各事業所での医療構想を踏まえ、より地域住民の要望に応える地域医療と地域福祉の実践をすすめました。無料低額診療事業は、既指定の6事業所の14年度実績は以下の通りです。

			城北病院	寺井病院	健生クリニック	城北診療所	城北クリニック	城北歯科	計
延利用者数	外来	生活保護	3,387	487	653	7,676	783	1,356	14,342
		無料低額診療	11	727	174	141	0	197	1,250
		計	3,398	1,214	827	7,817	783	1,553	15,592
	入院	生活保護	12,454	98					12,552
		無料低額診療	252	1,411					1,663
		計	12,706	1,509					14,215
総計			16,104	2,723	827	7,817	783	1,553	29,807

減免金額	外来	99,210	1,929,180	219,585	664,310	0	340,190	3,252,475
	入院	1,162,488	3,481,340					4,643,828
	総計	1,261,698	5,410,520	219,585	664,310	0	340,190	7,896,303

総延患者数に対する割合	13.7%	5.8%	4.6%	8.2%	12.6%	9.4%	9.9%
-------------	-------	------	------	------	-------	------	------

- ②小松みなみ診療所の無料低額診療事業、手取の里での無料低額老健事業の実施に向け、石川県の担当課と事前協議を行いました。手取の里については、県のご了解を頂き、書類を整備の上、2015年6月1日から開始しました。一方、小松みなみ診療所の申請に関しては、提出した利用者数見込みが「過大」として、開始申請は「時期早尚」との回答を受けました。今後県連、法人として栗津地域の「健康生活実態調査」などに取り組み、再申請をします。

- ③国は「地域包括ケア」を強力に推進しています。その地域の実情にあった、利用者本位の無差別平等の地域ケアのネットワークを構築することが重要です。その一環として石川民医連の長期計画に基づき「高齢者住宅建設」が具体化され、基本構想の検討を進めました。高齢者住宅は、ヘルスプランニング金沢が建設し、1月に設立された「一般社団法人いしかわゆめ福祉会」が運営してゆきます。高齢者住宅は2015年9月に着工し、2016年4月開設予定です。

3、友の会と共同した、地域での公益事業の推進

- ①従来の民医連事業所に対応した友の会組織を、2015年度から支部単位の「石川県健康友の会連合会」に組織改訂することが、2015年3月14日の結成総会で決定されました。これに伴い、法人としての基本的な立場を方針化しました。ブロックへの組織担当職員の配置はま

だ不十分となっています。

② 2014年度の、友の会ごとの会員数の動態及び班会、青空健康チェック活動への参加状況は以下の通りです

	奥能登	はくい	金沢北	金沢南	西健福	南加賀	小松南	計
会員実増	159	306	352	243	176	128	155	1,519
現勢	7,504	6,196	18,752	5,611	6,481	6,329	2,744	53,617
世帯数	3,042	3,155	9,452	2,484	3,731	3,054	1,290	26,208
班会地域参加累計	1,675	1,754	8,028	1,918	3,489	1,305	481	18,650
同 職員参加累計	14	195	774	89	149	225	7	1,453
青空健康チェック 地域参加累計	136	31	418	215	141	54	185	1061
同 職員参加累計	19	6	64	52	10	16	20	151
健康チャレンジ 地域参加累計	259	643	1598	145	94	806	118	3663
同 職員参加累計	55	94	629	84	63	52	10	990

4、法人中期計画を3月総会で決定

- ① 城北病院のリニューアル構想、寺井病院グループの中期医療経営構想を軸に、中期経営計画を含めた「石川勤医協中期計画」を、2015年3月総会で決定しました。
- ② 法人に「城北リニュアル建設委員会」を発足させ、城北リニュアルプロジェクト会議と合同で新病院建設の検討を進めてきました。設計事務所と実地設計契約を締結しました。
- ③ 「建設協力債」の新たな方針で2015年度から新病院建設等を目的に募集開始をするための方針を検討してきました。

5、医師の確保と養成

- ① 2015年度に入職する初期研修医は3名がマッチングし、入職は1名でした。金沢で家庭医として地域の中で働くこと、総合医として地域密着の中規模病院で働くことの面白さやりがいを医学生にアピールしてきました。
- ② 県連方針に沿って金沢事務所の体制強化の条件づくりをすすめ、2015年4月から1名増員し5名体制となりました。
- ③ 医学生の奨学生は、金沢大学3年生1名、国試浪人1名のみとなっています。

6、計画的な経常利益の確保

- ① 消費税増税、診療報酬実質マイナス改訂という極めて困難な情勢の下、地域に根ざし、友の会と共に、民医連らしい事業と活動を展開し、安定的な経営の維持発展をめざしました。
- ② 14年度決算は、本総会の第2号議案で提案させていただきます。事業収益は対前年比で▲8

500万（内訳は、入院▲1700万、外来▲6600万、その他▲200万でした）、入院は、14年診療報酬改定の影響によって、在院日数の短縮が進み、ベッド稼働率が下がったことが減収の主因で、外来も14年診療報酬改定による在宅医療分野はじめとした診療報酬の算定要件変更による大削減の直撃を受けました。また医師の負担軽減の観点から、一部の診療所で土曜診療の縮小等に踏み切りました。事業費用は、全体として予算内で管理されました。

③寺井病院ビジョン会議を継続開催し、9月には現地で拡大検討会を開催し、11月には「外来診療は総合内科に特化」「医療療養病床の維持」「老健との一体的な管理運営の強化」「友の会との協力共同」などを柱とする報告書をまとめました。その後、病院については一定の経営改善となっています。

④資金結集については、建設協力債は新規募集しませんでした。協同基金は、引き続き、職員と共同組織の経営への参加と支援という観点で取り組みをすすめ、1億0808万円の新規受け入れがありました。寄付金は1772件、1056万が寄せられました。

7、その他

- ・石川民医連労働組合と共同で、労働条件改善プロジェクトを発足させ、看護介護職員の夜勤改善をはじめとした協議を行いました。
- ・医師体制困難を受け、2014年6月から、寺井病院での日当直の一部外注化を開始しました。城北病院を中心とする医師集団の負担軽減に寄与していますが、業者の手数料含め、全体として費用増加傾向になり、後半期からは週末を中心とした受け入れとし上限を設けました。

2014年度の法人運営資料

①総会開催

- ・6月29日 第65回 法人総会（地場産業センター） 会員総数172名中152名参加
- ・3月29日 第66回 法人総会（地場産業センター） 会員曾数166名中129名参加

②理事会開催（理事総数24名、監事総数3名）

- ・4月19日 第1回理事会（理事19名 監事3名） 手取の里の対応
- ・5月17日 第2回理事会（理事18名 監事2名） 6月総会議案
- ・6月21日 第3回理事会（理事21名 監事3名） 6月総会議案
- ・7月19日 第4回理事会（理事17名 監事2名） 寺井Gの医療構想
- ・9月20日 第5回理事会（理事19名 監事3名） 城北病院リニューアル
- ・10月18日 第6回理事会（理事20名 監事3名） 友の会拡大強化月間方針
- ・11月15日 第7回理事会（理事22名 監事2名） 秋の諸運動の推進

- ・ 11月25日 臨時理事会（理事14名 監事2名） 臨時法人総会の中止
- ・ 12月20日 第8回理事会（理事20名 監事1名） 15年度予算編成方針など
- ・ 1月17日 第9回理事会（理事19名 監事3名） 城北病院リニューアル事業など
- ・ 2月21日 第10回理事会（理事20名 監事3名） 理事会合宿として開催
- ・ 3月24日 第11回理事会（理事20名 監事3名） 友の会組織改訂と法人方針など

③会計監査人の監査

- ・ 8月25－27日（公認会計士7名） 監査計画の説明、統制評価（城北病院、城北診療所、城北クリニック、寺井、手取、本部）
- ・ 9月30日（同1名） 棚卸立会（城北病院）
- ・ 10月17日（同3名） 中間決算概況把握（本部）
- ・ 11月20－21日（同5名） 統制評価（羽咋、おんぼら、上荒屋クリニック、ひだまり）
- ・ 2月17－18日（同5名） 統制評価
- ・ 3月18日（同5名） 決算前協議（本部）
- ・ 3月31日（同1名） 棚卸立会（城北、本部）

④監事の監査

- ・ 5月28日－30日 13年度の期末監査（全事業所と本部）
- ・ 10月10日－22日 14年度の期中監査（全事業所と本部）

⑤会員の動態（敬称略）

【退会】 桶谷健一 改田喜与志 堀清子 伊藤龍一 坂尻正一 塩谷昌彦 陣出文江

坂口眞寿美 河崎美保子 下島章弘 以上10名

【入会】 島西真弓 上濱幸子 馬場恵子 以上3名

【会員数】 166名（2015年3月末現在）

【ブロック別の構成】

	輪島	羽咋	金沢北	金沢南	西	寺井	小松	本部	計
地域	8	10	21	8	9	16	9	19	100
職員	5	1	25	5	7	10	1	12	66
計	13	11	46	13	16	26	10	31	166

⑥法人会員の物故者（敬称略）

- ・ 6月16日逝去 桶谷健一（2009年以降、法人理事を務められました）
- ・ 8月29日逝去 改田喜与志（1963年～1979年 法人理事を務められました）